

平成 29 年 10 月市長定例記者会見

日 時：平成 29 年 10 月 4 日（水） 午前 11 時～ 11 時 30 分

場 所：射水市役所会議室 302

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞、朝日新聞、北日本放送、射水ケーブルネットワーク、ホットライン K O S U G I、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、学校教育課長、地域振興・文化課長、地域福祉課長、未来創造課長（司会）

○質疑応答の概要

Q 1 . 発表事項の「平成 29 年度いみず鳳雛（ほうすう）きらめき塾」について、来年度以降どのように拡大していくことを考えているか。

A 1 . 今年度は生徒の日程上、代休を利用できる 3 校のみが対象となった。来年度以降について、まずは今年の事業の内容や成果を見たい。来年度以降も引き続き実施できればと思う。その際には、例えば夏休み期間中のように、すべての学校が対象となるように時期も検討していければと思う。市としては、せっかくのすばらしい方々とのご縁を、子どもたちの将来や健やかな成長へつなげていく機会にできればと考え、取り組んでいく。（市長）

Q 2 . 発表事項の「射水市足洗老人福祉センターの民間活用に係る対話（サウンディング）型市場調査」について、現在の申込み状況を教えてほしい。

A 2 . 既に数社からの申込みがある。具体的な所はこれからになるが、実際にサウンディング型市場調査を行うにあたり、担当課が市内金融機関にも話を聞いたところ、関心を持っているところもあった。（市長）

Q 3 . 足洗老人福祉センターは最終的に民間への売却となるが、今回の個別対話へ参加した法人又は法人のグループのみが実施主体となりうるような形で売却するのか、若しくは市場調査と売却は別に考えるのか教えてほしい。

A 3 . サウンディング型市場調査では、あくまでアイデアを聞かせていただく。市で複数の会社からアイデアをいただくことで、より実現性の高い要項を作成し、事業者を募集することが可能である。いただいたアイデアを参考にして公に募集し、選考を行い事業を進めて行くことになる。(市長)

Q 4 . 足洗老人福祉センターは、いつごろ民営化の予定か。

A 4 . こちらの思いとしては、今年度市場調査を行い、ある程度アイデアが固まれば、平成 3 0 年度中に事業者を公募して、提案を審査し優先交渉権者を決定していく。最短の流れで進めば 3 0 年度末前後になるスケジュールである。(市長)